

テクノロジーがひらく 新しい社会参加のかたち

OriHimeで社会参加をする畑中信乃氏 講演会

「できない」を「できる」に変える。

2026年は、本学ボランティア・NPO活動センター開設25周年の節目の年です。また、国連が定める「持続可能な開発のためのボランティア国際年」でもあります。

本講演会では、難病により寝たきりの生活を送りながらも、分身ロボット「OriHime」を通じて社会参加を続けている畑中信乃氏をお招きします。

畑中氏の経験を通して、難病や障がいのある人が多くの人々との支え合いの中で生きる姿や、人と人とのつながりの大切さについて学びます。また、ロボットやAIなどのテクノロジーが人の可能性を広げ、社会参加を支える新たな手段となっていることについて理解を深めます。

「できない理由」を探すのではなく、「どうすればできるか」を考える。

畑中氏の挑戦から、誰もが自分らしく学び、働き、社会とつながることができる共生社会のあり方について考えるとともに、自分自身の将来や社会との関わり方を見つめ直してみませんか。

福祉やボランティアに関心のある方はもちろん、AI・ロボット技術、教育、社会課題の解決などに興味のある方にもおすすめの講演会です。ぜひご参加ください。

日付・場所

日時：2026年12月10日（木）

13:30～15:00（3 講時）

場所：瀬田学舎 8-B103教室

およびZoom

申込：申込フォームから →

※「ニューロとAI」の履修者は申込不要



主催：龍谷大学ボランティア・NPO活動センター
共催：日本財団ボランティアセンター

畑中 信乃 さん

2015年、難病により寝たきりとなり、常時介助が必要となる。その経験を原点に大学へ編入し、社会福祉士を取得。「難病等サポート toiro」を立ち上げ、当事者として福祉の課題に向き合う。不自由さや苦しみも含めた「ありのまま」の価値を見つめ、人と社会、そして技術をつなぐ視点を大切に活動している。



主催・お問合せ

ボランティア・NPO活動センター

学びを行動へ。行動を未来へ。

～2026年、センター設立25周年！ボランティア国際年！～

【深草】成就館1階

【瀬田】青志館(生協食堂)横

平日9:00（火曜は10:45）～17:00

メール ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp